

令和6年度
福島県立博物館 秋の企画展

ふくしまの



長谷川雪堤「酒」字図(個人蔵) 部分

造り

— 酒を醸し 和を醸す —

10/1は日本酒の日!

令和6年 9月21日(土) ~ 12月1日(日) 福島県立博物館 企画展示室
エントランスホール
休館日●毎週月曜日(9/23、10/14、11/4を除く)、9/24、10/15、11/5 開館時間●9:30~17:00(入館は16:30まで)

酒どころ・福島県。実は酒造免許を持つ神社の多さは日本一。いわゆる「どぶろく祭り」として、今なお地域の人々の手で御神酒(おみき)が醸されています。加えて、会津地方は近世には藩直営の酒蔵が造られ、古い酒造家も多く、酒造家を中心に文化・芸術が開花しました。さまざまな切り口でお届けする、福島県立博物館初の「酒」の企画展です。

主催 福島県立博物館

観覧料 一般・大学生1,000円(団体料金 800円)、高校生以下無料
年間パスポート2,000円

後援: 会津若松市教育委員会、一般財団法人 会津若松観光ビューロー、会津若松商工会議所、(公財) 福島県観光物産交流協会、只見川電源流域振興協議会、福島県酒造組合、会津若松酒造協同組合、一般社団法人会津地域文化芸術フォーラム、福島県神社庁、福島民報社、福島民友新聞社、河北新報社、福島テレビ、福島放送、福島中央テレビ、テレビユー福島、NHK福島放送局、ラジオ福島、ふくしまFM